

## (資料1)

「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について」関係資料（横浜市）

グラフ1 横浜市における経験年数別教員数



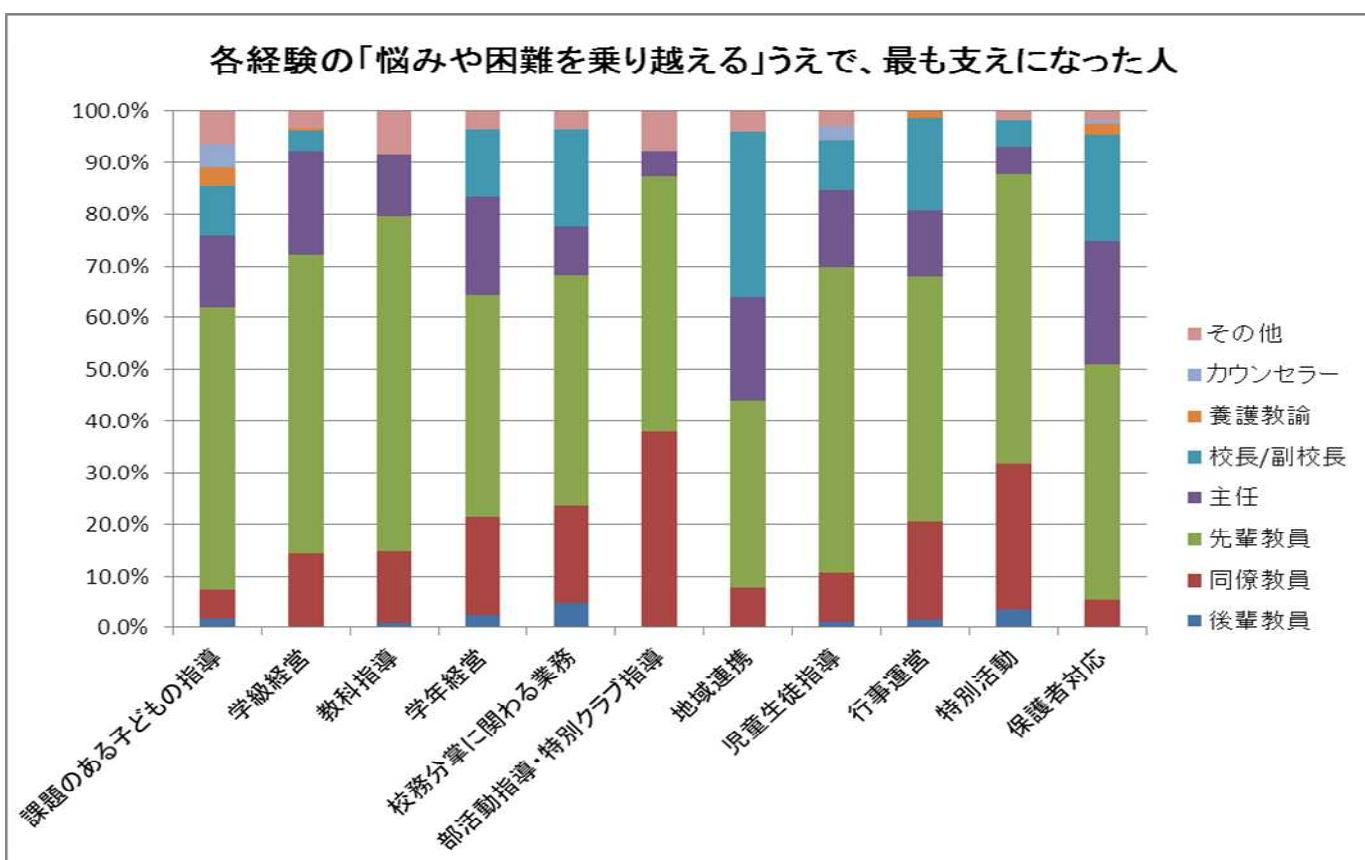
参考1 横浜市教育大綱（平成27年9月策定）（抜粋）

第2章 重点方針～“オール横浜”で進める横浜の教育～

重点方針3 子どもの豊かな学びを支える教育環境づくり

○グローバル化やICT化の進展など社会状況の変化に応じた教育活動を行えるよう、教員が自ら学び続けられる環境を整えます。

グラフ2 10年次教員に対するキャリア形成に関する意識調査（平成24年度）より



## 平成27年度「教員のキャリアステージ」における人材育成指標

平成22年2月策定  
平成27年3月改訂

| 資質・能力      | ステージ               | 横浜市が求める着任時の姿  | 第1ステージ   | 第2ステージ                                       | 第3ステージ   |
|------------|--------------------|---|--|--|--|
|            |                    |   | 実践力を磨き<br>教職の基盤を固める<br>(学級・担当教科等)                    | 専門性を高め<br>グループのリーダーとして推進力を発揮する<br>(学年・分掌等)   | 豊富な経験を生かし<br>広い視野で組織的な運営を行う<br>(学校全体)            |
| 教職の素養      | 自己研鑽・探究力           | ・常に自己研鑽に努め、探究心をもって自主的に学び続ける。                        |  |  |  |
|            | 情熱・教育的愛情           | ・横浜を愛し、教職への誇りと強い情熱、児童生徒への愛情をもつ。                     |  |  |  |
|            | 使命感・責任感            | ・教育公務員として、自己の崇高な使命を深く自覚し、法令及び「横浜市公立学校教職員行動基準」を遵守する。 |  |  |  |
|            | 人間性・社会性            | ・豊かな人間性や広い視野・高い人権感覚をもち、児童生徒や教職員・保護者・地域等との信頼関係を構築する。 |  |  |  |
|            | コミュニケーション          | ・周囲の状況や相手の思いや考えを汲み取るとともに、自分の考えを適切に伝え、積極的に助け合い支え合う。  |  |  |  |
| 学び続ける教職専門性 | 児童生徒指導             | 児童生徒理解  | ・児童生徒理解の意義や重要性を理解し、一人ひとりに積極的に向き合おうとしている。             | ・一人ひとりの背景を意識して、児童生徒に向き合う。                    | ・児童生徒を取り巻く環境を的確に捉え、一人ひとりの理解を図る。                  |
|            |                    | 児童生徒指導  | ・個や集団を指導するための手立てを理解し、実践しようとしている。                     | ・保護者等の関係者や校内組織と連携しながら、個や場面に応じた指導を行う。         | ・関係機関等と連携して、学年全体の児童生徒指導を行う。                      |
|            | 授業力                | 実態把握と目標の明確化(PLAN)                                   | ・学習指導要領を理解し、児童生徒の実態把握の必要性を認識し、目標を明確にして立案しようとしている。    | ・学習指導要領等を理解し、児童生徒の実態を把握したうえで目標を明確にする。        | ・学校の特色を考慮し、実現した姿を想定して目標を明確にする。                   |
|            |                    | 指導と評価の計画立案(PLAN)                                    | ・評価全般の意義及び、評価規準・指導・評価計画の意味を理解し、立案しようとしている。           | ・評価の目的を理解し、指導と評価の計画を立てる。                     | ・目標を実現するために、効果的な評価の機会を設定し、指導と評価の計画を立てる。          |
|            | 指導技術、指導形態の工夫(PLAN) | 指導技術、指導形態の工夫(PLAN)                                  | ・板書や発問等の基本的な指導技術を身に付け、実践しようとしている。                    | ・「習得・活用・探究」の学習を重視し、学び合い等の場面を取り入れた授業の展開を計画する。 | ・身に付けた技術を生かし、思考力・判断力・表現力や意欲をさらに高める工夫をする。         |
|            |                    | 授業中の指導と評価(DO)                                       | ・「指導と評価の一体化」の意味を理解し、児童生徒の様子を把握しながら授業を実践しようとしている。     | ・集団の中の一人ひとりの学習状況を把握し、適切に指導・助言を行う。            | ・学習状況に応じて、適切に補充的・発展的な指導・助言を行う。                   |
|            | マネジメント力            | 省察及び改善(CHECK, ACTION)                               | ・授業改善の意義や授業を分析し改善する手立てを理解し、実践しようとしている。               | ・一人ひとりの学習状況を把握し、次時や次単元の指導に生かす。               | ・適切な授業評価を行い、継続的な授業改善に取り組むとともに自己の専門性向上に努める。       |
|            |                    | 研究の推進と研究体制構築  | ・研究会や研修会に積極的に参加する意義を理解し、実践しようとしている。                  | ・校内研究会や他校の授業研究会に積極的に参加し、授業に生かす。              | ・校内研究会・校外研修会の企画・運営に携わり、授業力やマネジメント力の向上を図る。        |
|            | マネジメント力            | 学級経営・学校経営ビジョンの構築                                    | ・学級担任の役割と職務内容及び、学校組織・運営や校務分掌を理解し、自分できることを実践しようとしている。 | ・学校教育目標を理解し、学級経営や教科経営の方針を立て、一貫性のある指導を行う。     | ・組織運営や教科経営に積極的に関わり、学校教育目標の実現に向けて工夫改善を行う。         |
|            |                    | 人材育成(メンターチーム等の活動)                                   | ・学び続けることの意義を理解し、アドバイスに耳を傾け、自らを改善しようとしている。            | ・疑問点や悩みを相談したり、共有し合ったりしながら、自らの実践力を磨く。         | ・互いの課題や悩みに気付き、支え合える環境をつくるとともに、経験の浅い教職員を積極的に支援する。 |
|            | 危機管理               | 資源(人・もの・情報・時間・資金等)の活用                               | ・学校内外の資源の種類やその活用の目的・意義を理解し、実践しようとしている。               | ・身の回りの資源を積極的に教育活動に生かす。                       | ・教育活動に効果的な資源を見極めて活用する。                           |
|            |                    | 同僚とチームでの対応  | ・危機管理の重要性を理解し、危機を察知した場合に、素早い行動をとろうとしている。             | ・安全や教育効果に配慮した環境を整備し、課題について「報告・連絡・相談」を確実に行う。  | ・危機を予測し連携して未然防止を図るとともに、早期発見、早期対応に努める。            |
|            | 連携・協働力             | 保護者や他の組織等との連携・協働                                    | ・組織の一員としての自分の役割を理解し、同僚と協力して対応しようとしている。               | ・組織の一員として教職員と積極的に関わり、求められている役割を理解して対応する。     | ・互いの良さを認め合い、それぞれの力を生かして対応する。                     |
|            |                    |   | ・保護者等の連携の重要性を理解し、保護者や地域と積極的に関わろうとしている。               | ・保護者、地域と積極的に関わり、連携・協働して対応する。                 | ・保護者、地域、関係機関との関わりを深め、連携・協働して対応する。                |

# 平成27年度「教員のキャリアステージ」に応じた教員研修体系

平成27年3月

